



交通のご案内 (十津川村役場まで)

- お車でお越しの場合
 - 五條からR168を南へ64km (約1時間20分)
 - 新宮からR168を北へ57km (約1時間10分)
 - 白浜からR311を東へ本宮町を經由84km (約1時間40分)
- 電車・バスでお越しの場合
 - 近鉄大和八木駅から奈良交通バスで約4時間
 - JR五条駅から奈良交通バスで約2時間30分
 - JR新宮駅から奈良交通バスで約2時間30分
 - JR紀伊田辺駅から明光バスで本宮大社へ奈良交通バスで約3時間10分

テレフォンガイド

■観光・宿泊情報	■道路情報
十津川村観光協会 0746-63-0200	五條土木事務所 (十津川) 0746-68-0336
十津川鼓動の会 (語り部) 090-8937-6920	五條土木事務所 0747-23-1151
(一社) 吉野ビジターズビューロー 0746-34-2522	■交通機関情報
天川村総合案内所 0747-63-0999	近鉄旅客案内テレフォンセンター 06-6771-3105
熊野本宮観光協会 0735-42-0735	JR西日本お客様センター 0570-00-2486
(一社) 田辺市熊野アリスビューロー 0739-26-9025	奈良交通株テレホンセンター 0742-20-3100
■主な温泉施設	村営バス運行管理事務所 (十津川) 0746-64-0408
島の郷温泉保養館「星の湯」 0746-64-1111	熊野交通株 (新宮) 0735-22-5101
十津川温泉「庵の湯」 0746-64-1100	明光バス (白浜) 0739-42-3005
湯泉地温泉「滝の湯」 0746-62-0400	龍神バス (田辺) 0739-22-2100
湯泉地温泉「泉湯」 0746-62-0090	三光タクシー (十津川) 0746-64-0231
※公衆浴場は、すべて源泉かけ流し。	熊野第一交通株本宮営業所 0735-42-0051

企画・編集

十津川村役場 産業課

TEL 0746-62-0004 (直通) (土・日・祝日を除く) FAX 0746-62-0210
 〒637-1333 奈良県吉野郡十津川村小原225-1
 URL <http://www.vill.totsukawa.lg.jp>
 E-mail kankou@vill.totsukawa.lg.jp

2021.1.

世界遺産登山マップ 大峯奥駈道

OOMINE-OKUGAKEMICHI

釈迦ヶ岳・大日岳コース
玉置山周辺散策コース



世界遺産を歩く。



紀伊山地の霊場と参詣道

奈良県十津川村

大峯奥駈道 [紀伊山地の霊場と参詣道]

大峯奥駈道は、標高1200m~1900mの急峻な山岳が連なる大峰山脈の主稜線を通り、吉野と熊野の二大霊地を結ぶ約170kmに及ぶ山岳道で修験道の開祖役小角によって開かれた修験道の根本道場です。ここを中心に我が国固有の信仰である修験道は1300年の歴史と文化を脈々と今に伝えています。

大峯奥駈道には、大峯75靡(なびき)と呼ばれる霊地や行場が遺跡として各所に残り、祠や諸仏尊像などは良好な状態で保存・管理されています。十津川村にはこのうち35の靡(なびき)があります。

また、大峯奥駈道は、熊野から大峯に入るルートは順峯、吉野から熊野へ入るルートは逆峯と呼ばれ、逆峯は山上詣として、庶民の間にまで広がり一般化しました。



玉置神社の神代杉

吉野山~熊野本宮大社 P2,P3

全長170kmのこのコースを踏破するには、7泊8日が標準な日程ですが、それぞれの山には登山コースが設定され、日帰りで楽しめるコースもあります。特徴のある山々を自分の体力にあわせ踏破していくのも、大峯奥駈道を歩く楽しみのひとつといえます。

大峯奥駈道は修験の道です。一般登山道ではありません。

① 釈迦ヶ岳・大日岳 P4,P5

続日本百名山に選ばれた釈迦ヶ岳を登るコースです。釈迦ヶ岳へのコースは、前鬼方面からもありますが、ここでは比較的やさしい釈迦ヶ岳登山口からのコースを紹介しています。峯中一の秀峰といわれる釈迦ヶ岳をめざし、快適な登山が楽しめます。

② 玉置山周辺散策 P6,P7

玉置山へは折立から登るコースがありますが、ルートがわかりにくいので、ここでは玉置山駐車場へ車を止めてから玉置山周辺を散策できるコースを紹介しています。各コースとも短時間で歩けますので、組み合わせを考えながら自然林の中を散策できます。



釈迦ヶ岳

大阪府



大峯奥駈道

三重県

登山に当たっての注意

- 行程** あらかじめコースのみどころ、地形、距離、好ましい季節などを十分に調べて、自分の好みや体力にあったコースを選びましょう。行き帰りの乗り物の時間なども調べ、余裕のあるプランを組んで出かけましょう。
- 装備** 衣服：帽子、長袖・長ズボン、履き慣れたトレッキングシューズやスニーカー。持ち物：弁当、水筒、雨具、タオル、救急薬品、ビニール袋、着替え、防寒具、コンパス、地図、あめ・チョコなどの甘いもの。
※持ち物は必要最小限にとどめ、すべてリュックに入れて背負い、両手があくようにしましょう。
- 天気** 天気予報に注意し、天候が悪いときは無理せず予定を変更して、天気の良い日にゆっくり歩きましょう。
- 行動** 山歩きは、少なくとも2人以上のグループで行動しましょう。歩く前には軽い体操などで身体をほぐし、歩く速度はグループの人達の歩くペースに合わせましょう。
- 心得** 山道などには、人に危害を及ぼす危険な動植物がいることがあります。首の出る鈴などを必ず身につけましょう。特にクマ、マムシ、ハチやウルシなどには注意が必要です。



マナーを守って、楽しく歩きましょう。

- 入山時には、登山届を提出しましょう。
- ゴミ(弁当がらや空き缶・ペットボトル等)は、必ず持ち帰ります。
- 参詣道沿いの植物を傷つけたり、自然の草花を持ち帰ったりすることはやめましょう。
- 歩きタバコやホイ捨ては絶対にやめ、喫煙マナーを守りましょう。
- お互いに気持ちよく挨拶を交わしましょう。
- 山中人気のない所や、携帯電話の通じないエリアもありますので、事前に計画をたて、無理のない行程で歩きましょう。